

10月中旬までは夏のような気候でしたが、11月に入って突然寒くなりました。寒暖差が身体に厳しい京都の秋です。2025年秋・冬に京都支部で実施予定の事業内容をお知らせします。

お知らせ 2025年12月 京都府立京都学・歴彩館での上映会（英語字幕付き）

●12月9日(火) 14時上映開始（13時開場）

せかいのおきく

（2023年 東京テアトル・U-NEXT・リトルモア）

90分 モノクロ DCP 監督：阪本順治

出演：黒木華 寛一郎 池松壮亮 佐藤浩市

会場：京都府立京都学・歴彩館大ホール

入場料：無料 共催：京都府立京都学・歴彩館

※この上映会は事前申込制で実施します。お電話かメールでお申込みください。

（先着順。1申込につき2名まで。申込者全員のお名前、お電話番号が必要です）

申込先：府民総合案内・相談センター

電話：075-411-5000（受付時間：平日9時～17時）

メール：411-5000@pref.kyoto.lg.jp

申込期限：12月3日(水) ※定員になり次第締め切らせていただきます。



©2023 FANTASIA

お知らせ 2026年2月 京都市国際交流会館での上映会（英語字幕付き）

会場：kokoka京都市国際交流会館イベントホール

入場料：無料 上映開始：各日14時

共催：公益財団法人 京都市国際交流会館

●2026年2月12日(木)

上映作品は後日チラシ・ホームページで
ご案内いたします

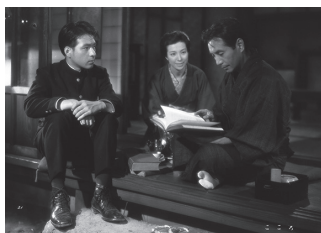
●2026年2月13日(金) こころ

（1955年 日活）122分 モノクロ 35mm

監督：市川崑

原作：夏目漱石

出演：森雅之 新珠三千代 三橋達也 安井昌二



『こころ』©日活

お知らせ クラスナホルカイ・ラースロー氏 ノーベル文学賞受賞

今年のノーベル文学賞はハンガリーの作家クラスナホルカイ・ラースロー氏が受賞しました。

クラスナホルカイ氏は2000年と2005年に国際交流基金のフェローシップ・プログラムで来日、京都を中心に研究活動を行いました。また来日時には京都支部も訪問、当時の京都支部長や支部のスタッフとの交流もありました。このように京都や日本にもゆかりの深い作家であるクラスナホルカイ氏の作品のうち『北は山、南は湖、西は道、東は川』（右写真）（早稲田みか氏翻訳/松籟社2006年）は、京都での滞在経験をもとにして書かれました。同書は現在 版元品切れで入手が困難ですが、国際交流基金関西国際センター図書館（大阪府、田尻町）で所蔵しています。国際交流基金および京都支部としても、クラスナホルカイ氏の今回のノーベル文学賞受賞は大変喜ばしく、心からの祝福を申し上げるものです。



実施報告 能楽チャリティ公演 ～祈りよとどけ、京都より～

8月21日に、京都ロームシアターにて開催されました能楽チャリティ公演に、京都支部も共催で参加しました。（主催：京都在籍能楽師有志 共催：京都市／ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）／国際交流基金京都支部 協力：松和印刷株式会社／株式会社京都舞台美術製作所）

入場料収入と当日募金箱にお寄せ頂いた寄付金合計は、1,668,212円となりました。寄付金は主催者（京都在籍能楽師有志）より、「日本赤十字社」と「令和6年能登半島地震災害義援金」へ送金されましたことをご報告します。

今年も第一部、第二部あわせて650名近くのお客様にご来場いただき、大変盛況のうちに終了いたしました。当日のアンケートも97%の方から「満足」の回答があり、海外からご来場の方からも、初めての能狂言鑑賞に「a nice discovery!」などの感想をお寄せいただきました。夏の恒例行事として楽しみにしていられっしやる方も多いようです。来年も8月20日（木）の開催が予定されておりますので、ぜひご来場ください。



能「経正」



能「鉄輪」



能「養老 水波之伝」



能「山姥 白頭」

実施報告 トラディショナル・シアター・トレーニング2025

トラディショナル・シアター・トレーニングは、1984年から続く舞台芸術に携わる人を対象とする伝統芸能トレーニングプログラムです。（主催：京都芸術センター、発表会共催：国際交流基金京都支部）

今年は能、日本舞踊の2コースを開講し、オプションとして小鼓のワークショップも開催しました。音楽家、振付家、研究者など、様々なバックグラウンドを持つ10か国17名の受講者が猛暑の京都に集い、3週間のお稽古を重ね8月8日（金）に大江能楽堂で成果発表を行いました。

当日は、受講者の皆さんの短期間でののお稽古とは思えない堂々とした公演の様子に会場からも大きな拍手が送られ、楽しく活気に満ちた発表会となりました。



写真：大島拓也

実施報告 2025年8月 大阪国際交流センターでの上映会

会 場：大阪国際交流センター 小ホール

入場料：無料

共 催：公益財団法人 大阪国際交流センター

●8月1日(金) **銀河鉄道の父** (英語字幕付き)

(2022年 キノフィルムズ) 128分 カラー Blu-ray

監督：成島出 原作：門井慶喜

出演：役所広司 菅田将暉 森七菜 坂井真紀 田中泯

●8月2日(土) **河童のクゥと夏休み** (韓国語字幕付き)

(2007年 松竹) 138分 カラー Blu-ray

監督：原恵一 原作：木暮正夫

出演(声)：田中直樹 西田尚美 なぎら健壱 富澤風斗 横川貴大



(C)2022「銀河鉄道の父」製作委員会



© 2007 木暮正夫/「河童のクゥと夏休み」製作委員会

大阪国際交流センターでの上映会を今年は8月に実施。2025年が日韓外交正常化60周年であることを記念し、上映2作品のうちアニメ『河童のクゥと夏休み』を韓国語字幕付きで上映しました(後援：駐大阪大韓民国総領事館。上映には国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵の韓国語字幕付きブルーレイを使用)。上映会後のアンケートにおいても満足度約98%、有意義さ約96%という高い評価が得られました。また来場者については韓国以外にもアルゼンチン、インド、ウクライナ、カメルーン、セネガル、台湾、中国、フィリピン、ブラジル、米国、ベトナム、ミャンマーといった国・地域の出身者があったことがアンケート等によって分かりました。

実施報告 2025年9月 京都府立京都学・歴彩館での上映会 (英語字幕付き)

会 場：京都府立京都学・歴彩館

入場料：無料 共催：京都府立京都学・歴彩館

●9月3日(水) **西陣の姉妹** 1952年 角川 (大映)

監督：吉村公三郎

出演：宮城野由美子 田中絹代 宇野重吉



© 1952 KADOKAWA



入場時ホール内の様子

9月には京都府立京都学・歴彩館と共催で同館大ホールにて『西陣の姉妹』を英語字幕付きで上映しました。アンケートからは来場者の出身国・地域がアラブ首長国連邦、イタリア、オーストリア、カナダ、韓国、シリア、中国、パキスタン、フィンランド、フランス、ブラジル、ポルトガルなど、また満足度は95%という高評価であったことが明らかになりました。

歴彩館2階閲覧室では関連資料紹介コーナーと映画のスチール写真のパネル展示もあわせて開催され(期間：9月1日～9月30日)、こちらも映画への理解を深める企画として好評でした。

お知らせ 国際交流のタベ ― 能と狂言の会2024 英語字幕付き無料配信

2024年の「能と狂言の会」の舞台映像(英語字幕付き)は、国際交流基金公式YouTubeチャンネルにて配信中です。



演者・演目：

狂言/茂山千五郎師

『棒縛(ぼうしばり)』

能/片山九郎右衛門師

『融 酌之舞(とおる しゃくのまい)』



配信期間は**2025年12月24日(水)まで**となっております。公開中に是非ご覧ください。

ご視聴はこちらから

現在京都支部で受け入れているフェロー一覧

2025年11月25日現在

氏 名	国・地域	滞 在 期 間	現 職	研 究 テ ー マ	受 入 機 関
PARK Jihyuk 朴志赫	韓 国	2025.2.10- 2026.2.9	シラキース大学博士 課程	地政学から見た九州観光	大阪公立大学大学院 文学研究科
SHARMIN SHUROVI Dilruba	バングラデシュ	2025.6.25- 2025.12.24	ダッカ大学准教授	日本におけるバングラデシュ人ディアスポラの文化教育	神戸大学大学院 国際協力研究科
VAROGLU Gonca	ト ル コ	2025.8.12- 2026.8.10	ネヴシェヒル・ハジュ・ ベクダシュ・ヴェリ大学 教員	トルコ語と日本語の直喩表現 —文化的背景と言語表現の関係性—	大阪大学外国語学部
Yash Raj	イ ン ド	2025.8.20- 2026.2.26	ジャワハルラル・ネルー 大学博士課程	日印童謡の比較研究：日本のわらべ歌と インドビハール州のBal Lokgeet	京都大学大学院 人間・環境学研究科
FARIZOVA Nina	ロ シ ア	2025.9.1- 2027.6.30	カラズー・カレッジ 客員助教授	万葉集と心 —上代和歌における主観的経験論	国際日本文化研究センター
BORENGASSER Daniel Paul	米 国	2025.9.1- 2027.8.31	ボストン大学講師	三十三間堂： 中世日本における彫刻、建築、多重性	国際日本文化研究センター
NGUYEN Thi Thanh Thao	ベトナム	2025.9.8- 2026.1.7	ベトナム国家大学 ハノイ校人文社会科学 大学博士課程	ベトナム人労働者の視点から見る日本の 多文化共生社会	京都産業大学 現代社会学部 現代社会学科
CHANTARACHAMNONG Seksan	タ イ	2025.9.15- 2025.11.30	ラジャマンガラ工科大学 ラタナコシン校 准教授	日本における外国人労働者スキルアップ 機会とキャリアアップに関する研究： 日本の外国人雇用対策	大阪大学・大学院 人文学研究科
BARDY Yannick	フランス	2025.9.15- 2026.2.14	リール大学准教授	近世日本の巨大都市大坂とその周辺 —神社をめぐる社会関係	大阪公立大学大学院 文学研究科
TERRADES OLIVERAS Minerva	ス ペ イ ン	2025.9.15- 2026.8.14	バルセロナ自治大学 博士課程	日本のメディアにおけるジェンダー： トレンドドラマを題材に	立命館大学国際関係研究科
KAWEKITSADANG Patcharaporn	タ イ	2025.9.26- 2026.3.25	タマサート大学 准教授	日本におけるコミュニティ通訳が東南ア ジア出身者の異文化適応と社会的課題解 決に果たす役割	京都大学大学院 人間・環境学研究科
GUARNE CABELLO Blai	ス ペ イ ン	2025.11.1- 2026.3.31	バルセロナ自治大学 准教授	外来語表記方法としてのカタカナ： 日本社会グローバル化過程の文化・言語 の交流	国際日本文化研究センター

京都支部後援事業

■基礎から学ぶ実践日本語教育講座

2期2025年10月25日(土)～2026年3月28日(土)

主催：一般財団法人京都国際文化協会 / お問い合わせメールアドレス：kica@kicainc.jp

■アートレインボープロジェクト2025

京都藝際交流協会とドイツ・ロストック市独日協会との共同開催により継続してきた、アートを通じた交流プログラムです。

2025年10月20日(月)～2025年11月2日(日) 会場：ギャラリーGARAGE（京都市南区）

主催：特定非営利活動法人 京都藝際交流協会 ※イベントは終了しています。

■第39回京都芸術祭美術部門 国際交流総合展

2025年10月28日(火)～2025年11月2日(日) 会場：京都市美術館別館2階 第二展示室

主催：京都芸術祭美術部門実行委員会 ※展覧会は終了しています。

■はまぐりシエルアートアワード受賞作品 貝合わせ展

蛤の貝殻を使ったアート作品の展覧会と、王朝文化を感じる体験会を京都市国際交流会館（kokoka）で開催します。

2026年3月11日(水)～3月15日(日) 会場：京都市国際交流会館 2階 姉妹都市コーナー・展示室

主催：一般社団法人 貝合貝覆文化協会

国際交流基金(JF) 京都支部

〒606-8436 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1 京都市国際交流会館3階

TEL：075-762-1136（平日10:00～17:00、土日祝休） FAX：075-762-1137

※開室時間：火～金10:00～17:00

（京都市国際交流会館は、月曜日が休館日です。祝日の場合は、その翌日の祝日でない日が休館日となります。）

